

知財における 官民の架け橋をめざして

特許審査第二部運輸
沼田 規好



ただいま、ご紹介にあずかりました、沼田規好と申します。

このような厳粛かつ盛大な場において大変僣越ではございますが、任期付採用者を代表しまして、ご挨拶させていただきます。

まず、はじめに、ご来賓の方々におかれましては、多くの温かい励ましのお言葉をくださいましたことを、厚く御礼申し上げます。また、4月の入庁以来、私共、新人としては若干特殊な任期付き採用者を暖かく迎え、懇切丁寧に指導頂いております講師の方々、指導教官の方々、諸先輩方にも深く御礼申し上げます。任期付き職員の採用も今年で3年目を迎え、国家公務員削減が叫ばれる中、今年も多くの職員を採用して頂きました。

私共任期付き採用者は、特許事務所や、企業の知財部で知的財産の実務経験を積んだ者から、各技術分野の研究開発に従事し、その最先端で揉まれた経験はあるが知財に関しての経験は皆無な者まで、その積んできた経験、有しているスキルは様々です。しかし、知的財産の今後益々の重要性を認識し、今までのスキルを生かし、知的財産のプロになるという強い気持ちは、ここに集まっている皆同じであると思います。

そんな中、4月の入庁以来、様々な研修や、指導教官、先輩との話のなかで、世界最高水準の迅速かつ的確な審査を目指し、そのために我々任期付き職員が採用されていることを再認識しております。前職での経験やスキルを生かし審査の迅速化に貢献することを期待されていることを肌で感じ、改めて身が引き締まる思いです。

私自身に関しましては、ロケットの研究

開発における基本設計や空力設計に従事しておりました。この技術は機械における先端的な研究分野で、様々な機械設計に通じるものであることから、そこで得た知識、あるいは周辺技術の知識を生かし、期待に十分答えるべく職務を遂行したいと考えております。また、他の任期付き採用者におきましても、それぞれが持つ専門性を十分に発揮し、世界最高水準の迅速かつ的確な審査に必ずや貢献できると自負していることと思います。

任期付きということで、これからは更に多くの事を短期間で身に付けていかなければなりません。限られた時間のなかで自らのスキルを高め、その結果として、任期中におきましては審査の迅速化、ひいては知財立国として日本の産業の発展に寄与するよう、また任期終了後におきましては、知財における官と民の架け橋として、力を発揮できるよう、大きな使命感と期待をもって研鑽を積んでいく所存です。これからも何卒、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。

